

研修名 保健看護研修 1

平成28年12月16日(金) 10:00~12:00

講演 「保育園における感染症対策」

講師 大阪府済生会 中津病院 安井 良則 氏

1 講演要旨

- ・「感染」 人に対して病原性をもったウイルスや、細菌、真菌などの「病原微生物」が、人の体内に侵入し増殖した状態

- ・「感染症」 病原微生物が人の体内に侵入して増殖し、それによって人に有害な影響を及ぼすか、または人の生体に防御反応が起こり、人に対して好ましくない反応を引き起こされた状態。発症した状態。

- ・飛沫感染 風疹、感冒、マイコプラズマ、インフルエンザ、流行性耳下腺炎、SARS、百日咳、溶連菌、性咽頭炎、手足口病、肺炎球菌肺炎
飛沫を浴びて吸い込まないようにする為、マスクの着用が有効的である。

- ・空気感染 麻疹(はしか)、水ぼうそう、結核
換気はあまり効果がなく、ワクチン接種しか、有効な対策はない。

- ・接触感染 咽頭結膜熱 MRSA、セラチア、ヘルパンギーナ、
手で、病原体が付着し、その手で鼻や口を触ることにより、病原体が鼻や喉、などの気管支系の粘膜に付着し増殖し感染症が起こる。「手洗い」等の手指衛生が有効的である。また、ペーパータオルが理想的。

- ・経口感染 ロタウイルス感染症、ノロウイルス、サルモネア、カンピロバクター、赤痢、O-157
衛生的な取扱い、病原微生物が侵入している可能性のある食材はしっかり加熱することが重要である。

2 感想

- ・今回、感染症について、さまざまな視点から捉えることができた。
また、マスクでは全ての感染症が防ぎきれないこと、手洗いが重要であるということ、(水洗いだけでは、効果がない)、固形石鹸はあまり好ましくない、石けんの継ぎ足しは良くない等、知らなかったことがたくさんあったが、知る機会となってよかった。子どもたちに手洗いうがいの大切さを伝えていく必要があると改めて感じた。
インフルエンザはこれから流行してくると予想されるため、非常に興味深いものであった。ワクチンの知識が広がった。アレルギー対象の幼児もクラスにいたので、知っておかなければいけないことが学べた。5か月程、効果があるため、11月頃には打った方が効果的なのかと感じた。

記録

八木中央幼児学園 白井 理奈

